

第四十四回 貴族院議事速記録第十號

大正七年三月四日(月曜日)

午前十時四分開議

議事日程 第十號 大正七年三月四日

午前十時開議

- 第一 男爵關義臣君請暇ノ件
- 第二 酒造稅法中改正法律案(政府提出、
衆議院送付)
- 第三 酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案
(政府提出、
衆議院送付)
- 第四 麥酒稅法中改正法律案(政府提出、
衆議院送付)
- 第五 所得稅法中改正法律案(政府提出、
衆議院送付)
- 第六 戰時利得稅法案(衆議院提出、
衆議院送付)
- 第七 臨時國庫證券法中改正法律案(政府提出、
衆議院送付)
- 第八 遠洋漁業獎勵法中改正法律案(政府提出、
衆議院送付)
- 第九 軍用自動車補助法案(政府提出、
衆議院送付)
- 第十 大正五年法律第四號中改正法律案(政府提出、
衆議院送付)
- 第十一 朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案(政府提出)

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔岡書記官朗讀〕

去ル一日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決
ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

鐵道敷設法中改正法律案

朝鮮事業公債法中改正法律案

樺太事業公債法案

東京帝國大學及京都帝國大學臨時政府支出金繰入ニ關スル法律案

帝國大學特別會計法中改正法律案

同日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ回付セ
リ

足尾鐵道及有馬輕便鐵道ノ買收ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ採擇スヘキモノト議決シタル鳥取縣東伯郡市勢村金市ニ登
記所設置ノ請願外二件ノ請願ハ各意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案可決報告書

酒造稅法中改正法律案可決報告書

酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案可決報告書

麥酒稅法中改正法律案可決報告書

所得稅法中改正法律案可決報告書

戰時利得稅法案可決報告書

臨時國庫證券法中改正法律案可決報告書

大正五年法律第四號中改正法律案可決報告書

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

未成年者飲酒取締ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵清棲 家教君

副委員長 男爵石黑 忠惠君

同日內閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

海軍省所管事務政府委員

農商務省所管事務政府委員

海軍省參事官 山川 端夫君

製鐵所長官 白 仁 武君

一昨二日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

市町村立小學校教員俸給國庫負擔法案特別委員會

委員長 伯爵林 博太郎君

副委員長 子爵牧野 忠篤君

裁判所ノ設立ニ關スル法律案外一件特別委員會

委員長 子爵勘解由小路資承君

副委員長 石渡 敏一君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

裁判所ノ設立ニ關スル法律案可決報告書

大正二年法律第九號中改正法律案可決報告書

軍用自動車補助法案可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

地種變更免租年期ニ關スル法律案

同日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

日本勸業銀行法中改正法律案

輕便鐵道法中改正法律案

軌道條例中改正法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏

上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

舊韓國貨幣ノ處分ニ關スル法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ修正ニ同意シ奏

上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

足尾鐵道及有馬鐵道ノ買収ニ關スル法律案

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、男爵關

義臣君請暇ノ件、病氣ニ付九日間ノ請暇デアリマス、許可ヲ致シテ御異存ゴ

ザイマセスカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 諸君ニ御諮リヲ致シマス、日程第二ヨリ第六マデ

ノ法案ハ同一委員ニ付託セラレマシタカラ、委員長ノ報告ハ一括シテ差支ナ

カラウト考ヘマス、御異存ゴザイマセスカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、併シ問題ト致シマスノハ、

一ツツ、問題ニ供スル積リデゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二、酒造税法中改正法律案、第三、酒精及

酒精含有飲料税法中改正法律案、第四、麥酒税法中改正法律案、第五、所得

會ノ續、委員長報告
〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕
酒造税法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正七年三月一日
右特別委員長
伯爵柳澤 保惠
貴族院議長公爵德川家達殿
酒精及酒精含有飲料税法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正七年三月一日
右特別委員長
伯爵柳澤 保惠
貴族院議長公爵德川家達殿
麥酒税法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正七年三月一日
右特別委員長
伯爵柳澤 保惠
貴族院議長公爵德川家達殿
所得税法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正七年三月一日
右特別委員長
伯爵柳澤 保惠
貴族院議長公爵德川家達殿
戰時利得稅法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正七年三月一日

右特別委員長

伯爵柳澤 保惠

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 唯今議題ニ上ッテ居リマス諸案ノ報告ヲ一括シテ、成ルベク簡單ニ申上ゲタイト考ヘマス、此諸案ノ二三ニ付キマシテハ、御承知ノ如クニ衆議院ニ於テ修正ガゴザイマシテ、其修正ノ點竝ニ其他ノ點ニ付キマシテ、委員會ニ於キマシテハ慎重ニ審議イタシ、政府ノ原案ニ付キ又衆議院ノ修正案ニ付キ交 論議ヲ盡シマシテ、遂ニ衆議院送付通リニ可決ニナッタノデアリマスル、固ヨリ之ニ付キマシテハ十分ニ審議ヲ致シマシテ、決シテ之ヲ衆議院ノヲ鵜呑ミノヤウニ致シテ決シタノデハゴザイマセヌ、十分ニ意ノ在ル所ヲ盡シ疑ノ在ル所ヲ質シテ可決イタシタノデアリマス、御承知ノ如クニ此法律案ハ豫算ニ關係ノアル諸案デゴザイマス、豫算ニ於キマシテハ諸君ノ御承知アラセラル、如クニ、種々ノ新計畫ガゴザイマスケレドモ、就中主眼ト致スノハ彼ノ國防ノ充實ト云フコトデアリマス、此國防ノ充實ニ付キマシテハ、十分ニ當局ニ於テモ考慮セラレマシテ、其財源等ヲ攷究セラレタノデアリマス、然シテ其結果トシテ其財源ヲ租税ノ上ニ求メラレマシタ、而カモ租税ハ殊ニ彈力アル租税ニ求メラレマシタ效果トシテ現ハレマシタノハ、重ニ酒造税所得税此二ツノ税率ノ改正ニ依ッテ主タル財源ヲ取ッタノデアリマス、尙ホ之ニ附帶イタシテ三ツノ租税モゴザイマスケレドモ、主トシテ此二ツノモノニ付テ財源ヲ求メタノデアリマス、然シテ臨時事件豫備費ニ對シテハ財源トシテハ、新タニ新税ヲ起サレマシテ、是ハ戰時利得税法案デゴザイマス、之ニ依ッテ戰時ノ財源ヲ求メテ臨時事件豫備費ニ對スル歲入ヲ得タノデアリマス、尙ホ此外ニ御承知ノ如クニ衆議院ニ對シテハ政府ハ八案ヲ提出サレタノデアリマス、併ナガラ是ハ否決ニナリマシタノデアリマス、此點ニ付テモ十分ニ政府ハ其意ノ在ル所ヲ委員會其他ニ於テ申述ベラレタノデアリマス、此說明及詳細ナル解釋ニ關シマシテハ、本議會ニ於キマスル豫算提出ノ際、竝ニ増税案等ノ提出ノ際ニソレ／＼當局大臣ヨリシテ陳述ガアリマシタノデ、私ハ今之ヲ繰返スコトヲ避ケマス、委員會ニ於テハ尙ホソレヲ敷衍イタ

サレマシテ、政府委員ヨリ懇々衆議院修正ノ理由、竝ニ本案提出ノコトニ付キマシテ、詳細ニ各條項ニ互リ、十分ニ辯明ヲ承ハッタノデアリマス、委員會ハ五回開キマシタ、其五回開キマシタ委員會ノ模様ヲ一々茲ニ申上ゲル必要ハナカラウト考ヘテ居リマス、デ委員會ニ於キマシテハ、此税制整理ノ件竝ニ歲入歲出ノ計算ニ關スル件、ソレカラ税額ノ計算ニ關スル件、尙ホ條文ニ關シマスル字句ノコト等細大洩ラサズ質疑ガアリマシテ、尙ホ法律ノ改正後ノ效果ニ對シテ其影響如何ニ付テ、實際ニ互ル事柄ニ付テ詳細ナル應答ガアッタノデアリマス、是ヨリ唯今申シマシタコトニ付キマシテ、二三ノモノヲ御紹介イタサウト考ヘマス、先ヅ大體ノ質問ハ可ナリゴザイマシタガ、其内ノ二三ヲ申上ゲテ見マスレバ、其質問ノ一トシマシテ、元來衆議院ニ出サレタ政府ノ提案ト、今度衆議院ニ於テ修正サレタ所ノ相違ノ點ニ付テ當局ノ意見ヲ質サレマシタノデアリマス、是モ其說明ハ本會議竝ニ委員會ニ説明サレマシタガ、詰リ政府ニ於テ衆議院ノ修正ニ同意シタル所ノ理由、即チ税制整理ハ認メルケレドモ、是ハ凡テ時局後ニヤッタラ宜カラウ、主義トシテハ認メルケレドモ、今日ヤルノハドウデアラウカト云フ衆議院ノ意見ニ對シテハ政府ノ同意ノ點、竝ニ尙ホ詳細ニ互リマシテ説明ガアッタノデアリマス、尙ホ此歲入ノ見積リ方デアリマスガ、或ハ歲入ニ付テハ樂觀ト悲觀ト云フコトニ付テノ問題ガ出タノデアリマス、兎角其歲入ノ見積リ方ガ何時モ少イ爲ニ、ソレデ毎年多額ノ剩餘金ヲ生ズルノデアアル、七年度ノ豫算ノ如キモ或ハ左様ナ見積リ方デハナイカ、豫算ノ編成方ガ宜シクナイト云フヤウナ豫算委員會ニ於ケル如キ質問ニ對シテハ、政府トシテハ是ハ御尤モデハアルケレドモ、政府ハ確實ナル所ノ基礎ニ依ッテ計算シタノデアアルカラ、多少ノ剩餘金ノ殘ル場合モアルダラウケレドモ、左様ナ確實ナモノニ求メルホカ仕方ナイ、斯様ナ御答辯ガアッタノデアリマス、ソレカラ増税ハスルガ、併ナガラ歲入歲出ノ方カラ見テモ、隨分事業ノ繰延ベ等ノ爲ニ餘金モ多カラウ、斯様ナ疑ノアル點ヲ考慮シタナラバ、七年度ノ豫算編成ニ際シテハ、今度ノ國防費位ハ出ヤシマイカ、サウスレバ増税ノ必要モナカラウト云フ御議論モアリマシタ、之ニ對シテハ、成程剩餘金モ相當ニ出ル積リデハアル、又政府ニ於テモ節減ノ道ヲ大分圖ッタガ、十分圖ラレナイノデ、已ムヲ得ズ斯様ナ増税ノ途ニ出タノデアアルト云フ答辯デアッタノデアリマス、ソレカラ又歲入ニ對シテハ、現今ニ對シテハ現今ハ好イ狀況デアアルガ、併ナガラ斯様ナル狀況ガ將來

長ク續カウトハ思ハレナイ、サウスレバ又歳入ニ多少缺陷ノ生ズル場合ニハ、他日又増税ヲスル必要ハナイカト云フ御質問モアリマシタ、尙ホ税制整理ト云フモノハ時局ノ終末マデ延バスト云フコトデアッタガ、税制整理ニ付テハ將來又同ジヤウナモノヲ出スノデアルカ、又他ニ何カ税制整理ニ付テ考慮スルカト云フ御質問モアリマシタ、ソレニ對シマシテハ政府ハ税制整理ハ時局後ニスル積リデアルガ、併シ其場合ニ於テ果シテ現今出シタ如キ所ノ税制整理案ト同ジモノヲ出スカ、或ハ他ニ何カ考慮ヲ廻スカト云フコトハ今日明カニ申スコトハ出來スケレドモ、併シ他日サウ云フ場合ガアッタ時分ニハ十分ニ考慮ヲスルト云フコトデアリマシタ、即チ先般出マシテ衆議院ニ於テ否決シタ如キモノヲ全部出スカ、或ハ他ノモノヲ出スカ、又ハ止メルカドウカト云フコトニ付テハ、今日明言ハ出來スト云フコトデアリマシタ、尙ホ此税制整理ノコトニ付キマシテハ、税制整理ノ意味、其他ニ付テ質問應答ガアッタノデアリマス、ソレカラ又官吏増俸ノ質問ガ出マシテ、是ハ臨時事件豫備費ノ中カラシテ、官吏ノ手當ヲ増スヤウナコトガアリマスノデ、此増俸ト云フコトニ付テハ思ヒ切ッテノ増俸モナイヤウダガ、ソレハドウ云フモンダト云フ質問ガアッテ、ソレト答辯ガアッタノデアリマス、先ヅ大體ノ質問ハ之ニ止メテ置キマス、是ヨリ各案ニ移リマシテノ質問ノ二三ヲ申シ上ゲマス、此酒造税法ノ改正法律案、是ハ衆議院ニ於テ修正ガアリマシテ、政府モ認メタノデアリマス、此衆議院ノ修正ノ理由ハ、簡單ニ申シマスルト、燒酎並ニ味淋ニ對シテ増税ノ率ガ多スギル、ソレ故ニ此含ム所ノ酒精分ノ度合ニ應ジテ權衡ヲ保ッテ課税スルヤウニ改メタノデアリマス、又濁酒ノ税率モ高イト云フノデ衆議院デハ下ゲタ、之ヲ政府ガ同意サレタノデアリマス、尙ホ此外ニ清酒ニ關シマシテ貯藏ノ減量ヲ認メタト云フコトデアリマス、ソレカラ又酒類ノ製造免許石數ノ制限ヲ上スト云フコトガアリマシタ、是ガ酒造税法中改正法律ノ修正ノ點並ニ改正ノ點デアリマス、之ニ對シテハ條文ニ對スル御質問モアリマシタガ、此詳細ハ省略シヤウト考ヘマス、是ハ別ニ詳細ニ申上ゲルコトハナイト思ヒマスガ、八條二項ト五條ノ改正ニ付テ質問ガアリマシタ、ソレカラ酒精及酒精含有飲料税法中改正法律案及麥酒税法中改正法律案、是ハ酒造税ノ改正ニ伴フ權衡上ノ改正デアリマシテ、別ニ之ニ付テハ何等質問モナシ、政府委員モソレ以上説明モナカッタノデアリマス、此次ハ所得税法中改正法律案デアリマス、是ハ可ナリ御質問モアリマシタガ、重ナコトニ止メ

テ置カウト思ヒマス、此所得税法中改正法律案ハ御覽ゼラル、如ク、是ハ大體税率ノ引上ゲデアリマシテ、約二割ノ引上ゲニナッタノデアリマス、而シテ三種ノ所得ノ課税ノ最低額ヲ上ゲマシテ、是マデ四百圓デアッタノヲ五百圓ニシタノデアリマス、山林所得ノ改正、是ハ能ク法律ト命令トノ矛盾デアルト云フヤウナ事柄ガアッテ、屢々爭議ガ起リマシタノデ、ソレニ付テ法律ヲ改メタノデアリマスルガ、併ナガラ山林ノ所得ト云フモノハ重ニ伐採ガ目的デアアル、強ヒテ政府ノ修正ノ如クニスルニハ及ブマイ、又政府モ山林所得ト云フモノハ材木ニアルト云フ以上ハ、強ヒテ衆議院ノ修正ヲ拒マナイノデ、即チ現行法ニ戻ッタノデアリマス、ソレカラ尙ホ納期ノ改正ガ此法文ニ現ハレタノデアリマス、之ニ對シテ質問ガ出マシタガ、最モ多ク質問ノゴザイマシタノハ、法人ト個人ト課税率ノ相違ノ點ニ付テ、委員ヨリ同様或ハ類似ノ質問ガ出マシタノデアリマス、是ハ個人ト法人ト課税率ガ如何ニモ違ッテ居ッテ、甚ダ是ハ困ルデハナイカ、ドウカ之ヲ緩和スル方法ハアルマイカ、又第三種即チ個人ノ税率ヲモウ少シ下ゲルヤウナ考ハナイカドウカト云フヤウナ御質問デアリマシタガ、之ニ對シテハ考慮ヲシテ見ヤウ、併シ第三種ノ率ヲ減ズルト云フコトハ今日別ニ明言ハ出來スコトデアアル、詰リ政府ニ於キマシテモ個人ト法人トノ税率ノ相違ハ認メラレテ居リマスケレドモ、委員ノ質問ノ如クニ、ソレヲ今日ドウシヤウ、斯ウシヤウト云フヤウナ考ノ返事ハナカッタノデアリマス、ソレカラシテ又能ク質問ノ出マシタノハ、此個人ノ組織ヲ合資合名ニ致シ、又ソレヲ株式會社ニスルト云フヤウナ風ニシテ、體ノ好イ脱税ノ方法ヲ取ル者ガ多イ、法律ノ上カラ申シマシテモ、株式會社ニ課ケル税ガ一番廉イノデアリマスカラ、種々ナ場合、種々ナ時ニ、種々ナ口實ヲ設ケテ變形スル者ガ多イ、ドウモ是ハ脱税ニ近イモノデアアルカラ、是ハドウカ取締ル方法ハナイカト云フ御質問モ屢々出マシタノデアリマス、此御質問ニ付テハ政府ニ於テモ餘程前ニ斯様ナコトヲ取調ベ、法案ノ提出ヲシタコトガアルガ、ソレハ衆議院デ否決ニナッタ、併ナガラ現今尙ホ左様ナ弊害ハ随分認メラレルコトデアアルシ、又諸君ノ氣付モアルコトデアアルカラ、是ハ考ヘテ見ヤウ、併ナガラ其立法ニ付テハ之ヲ次ノ議會ニ出スト云フコトノ明言ハ出來スガ、此點ニ於テ脱税ノ方法ニ對スル取締ニ付テハ十分ノ考慮モ致シ、尙ホ又之ヲ注意シテ見ヤウト云フコトデアリマシタ、ソレカラ尙ホ所得税ノ取方ニ付テノ質問モアリマシタ、是ハ前ノ所得税法デハ個人カラ取ッタモノデ

アリマス、今日デハ個人ト法人ト分ケテ居リマスガ、前ニハ個人カラ總テ取ッ
タモノデアルガ、サウ云フヤウナ從來ノ方法ヲ又考ヘテ見タラドウカ、又家族
即チ未成年者ノ數ニ應ジテ、多少所得稅ヲ斟酌スルヤウナ立法モ外國ニアル
ガ、是等モ考ヘテ見タカドウカ、又納稅期ノ指定ガドウモ法律ノ納期ヨリ兎角
早クシテ困ル、斯シナコトニ氣ヲ付ケテ貫ヒタイ、又將來納期ノ改正ハナイカ
ドウカ、是ハ納期ヲ中旬カラ下旬マデ繰下ゲマシタニ付テ、ソレハ又之ヲ元ニ
戻スヤウナコトハナイカト云フヤウナ質問デアリマシタ、之ニ付テモ當局者
ハ其委員ノ質問ヲ謝シ、同時ニ又サウ云フ委員ノ質問ノ如ク、全體ニ付テハ考
慮ヲシテ見タコトハナイガ、併ナガラ其質問ニ對シテ一應攷究モシテ見ヤウ、
又調査モシテ見ヤウト云フコトデアリマシタ、尙ホ細シイノハ大分ゴザイ
マシタガ、是ハ速記録ニ讓リマシテ省略イタシマス、併シ又一二申シマスレ
バ、所得稅ノ増加スル場合ニ附加稅モ増スコトニナツテ居ル、隨分今日ハ最極
度マデモ附加稅ガ増シテ居ルヤウデアル、是ハ元來附加稅ニハ制限ガアルノ
デアルガ、兎角制限以上ト云フヤウナ風ニナツテ困ルガ、是ハドウスルト云フ
御質問モアリマシタガ、是ハ附加稅ニ付テハ制限外ノ課稅ト云フモノハ成ル
ベク許サスコトニシテ居ル、他ニ増稅ニ付テハ制限ニ付テハ考ヘテ居ラスケ
レドモ、十分注意スル、即チ増稅ニ付キ附加稅ヲ掛ケスト云フコトハ伺ッタノ
デアリマセスガ、十分注意シテ見ヤウト云フ御返事デアッタノデアリマス、ソ
レカラ尙ホ此二種……一種二種三種トアリマス二種デアリマスガ、此内社債
ノ利子ガ千分ノ三十公債ノ利子千分ノ二十ニツニ分ケテ居リマス、此中ニ
ハ勸業銀行農工銀行等ノ社債ガアツテ千分ノ三十二ナツテ居ル、地方債ガ千分
ノ二十トシテアルガ、斯様ナコトハ如何デアルカ、不穩當デハナイカ、特殊ノ
公債ノ利子同様ニ見テ同様ニスル考ハナイカ、即チ千分ノ三十ノモノヲ千分
ノ二十ニシタラドウダト云フ御質問モアリマシタガ、是ハ成程サウ云フコト
ハ御尤モデアルケレドモ、此類似ノ債券ニ向ッテ愈、ソレヲスルト云フ場合ニ
ハ、隨ッテ範圍モ廣クナルノデ、サウ云フコトモ仕惡イ、併ナガラ御質問ノヤ
ウナ所ノ債券ニ對シテハ、裏面ヨリ十分便宜ヲ與ヘテ居ルノデアルカラシ
テ、是ハ考ヘテハ見ルケレドモ、矢張り千分ノ三十ニシテ置クノハ已ムヲ得
スト云フコトデアリマシタ、所得稅ノ方ハ其位ニシテ置キマス、今度ノ委員
會ニ於キマシテ、殊ニ質問ノ多カッタノハ戰時利得稅デアリマス、故ニ委員長
ハ其方ニ付キマシテ少シク詳細ニ申上ゲヤウト思ヒマス、此戰時利得稅ト云

フモノハ御覽ゼラレル如クニ、所得稅法ヲ根據ト致シマシテ、其所得ノ決定
ノ金額ニ依ッテ利得稅ヲ課スルコトニナツテ居リマス、尙ホ此他ニ船舶鑛山ノ
賣却ニ依ル個人ノ利得ニモ課ケルノデアリマス、ソレカラ此法案ニハ大分詳
シク算定ノ方法ニ付テノ規定ガアリマス、個人ト法人トノ相違ノ點モ認メテ
居リマス、尙ホ此法案ニ付キマシテハ大分條項ハ多ウゴザイマスケレドモ、
能ク興味イタシテ見ルト、要スルニ稅ノ計算ニ俟ツコトガ大分多イノデアリ
マス、衆議院ニ於テ一字ノ修正ヲ致シマシテ、「所得金額三千圓」ノ「所」ト云
フ字ヲ「利」ト云フ字ニ改メマシタ、是ダケノ修正デアリマス、ソレデ法文ニ
付テノ御質問モアリマシタガ、就中此稅法ガ行ハレマスルトキニ際シテノ效
果、即チドウ云フ風ニ利得稅ガ課カルカ、ドウ云フ風ニ計算スルカ、其影響ガ
大キイデハナイカト云フヤウナ、重ニ計算上ニ付テノ緻密ナ質問ガアリマシ
タノデアリマス、先ヅ初メニ大體質問ノ一二ヲ申上ゲマスルト、利得額ハ政
府ノ見積リハ分ツテ居ルガ、若シ是ガ多ク取レタ場合ニハドウスルノカ、其
時ニハソレハ或ハ一般會計ヘ使フノカ、剩餘金ニスルノカト云フヤウナ御質
問ガアリマシタガ、ソレハサウ云フ場合ニハ政府ハ決シテ他ニハ使ハナイ、
豫算ニ借入金何千萬圓トアルケレドモ、此借入金ヲセスコトニシテ使フコト
ニスル、勿論臨時事件費ノミニ使ッテ、他ニハ使ハスト云フ御答辯デアリマシ
タ、其利得稅ノ見積ルコトガ少イヤウデアル、是ハ如何デアルカ、之ニ對シ
テハ政府ハ例ノ如クニ毎モ基礎ヲ確實ナモノニ取ルノデアアル、確實ナル基礎
ニ依ッテ割出スノデアアルカラシテ、多少其少イヤウナ觀ガアルケレドモ、是ハ
一時ノ現象ニ於ケル所ノ算盤ヲ取ツタリ、又臨時ニ取レル所ノ算盤ヲ取ツタ
デハ甚ダ宜シクナイカラ、多少サウ云フコトハ考慮スルケレドモ、又計算ノ基
礎ヲ確實ニスル爲ニ、確カナルモノカラ來テ居ルカラ多少見積額ノ相違ハア
ラウ、ケレドモ決シテ是ハ世間デ言ハレルヤウナコトハナイト云フコトデア
リマシタ、ソレカラシテ又斯様ナ御質問モアリマシタ、此七年度ヨリ利得稅ヲ
御取リニナルガ、斯様ナ稅額位ノモノハ何トカ歳入ノ方ヲ調節シタナラバ出
ヤウト思フガドウデアラウカ、又世ノ中ノ變調ノ場合ニハ矢張り豫算ナドヲ
編ム時分ニモ多少サウ云フコトヲ顧慮シテ、平時ノ計算ヲ見ルモ宜シイガ、先
ヅハ變調ノ場合ヲモ基礎トシタラ宜カラウ、現ニ所得稅ナドノ計算ヲ見ルト、
政府ハ普通ノ場合モ戰時ノ場合モ構ハズニ、矢張り死シンダ算盤デ計算シテ居
ル、是ハ甚ダ宜シクナイ、多少時勢ニ應ジタ計算ヲシタナレバ、決シテ今度

ノ如キ利得税ノ提案ハナクテモ相當ナ收入ハアラウト思フガドウデアラウ、之ニ對シテモ矢張り理窟ハ御尤モデアレドモ、矢張り確實ナル豫算ヲ作ルニハ確實ナ基礎ガ必要デアッテ、多少變調ナ場合ヲ考慮スルケレドモ、先ヅ據ル所ハ平年度ノ平均計算ニ據ルヨリ仕方ガナイト云フ御返事デアリマシタ、ソレカラ最モ注意スベキ現象ト致シマシテ質問ノアッタノハ計算ノコトデアリマス、是ハ御承知ノ通りニ、日本工業俱樂部ガ一方ニ於キマシテ、俱樂部ニ於テ蒐集シタル所ノ材料ニ依ッテ、計算イタシマシタ所ガ、是ガ政府ノ見積高ト非常ナ懸隔ガアル、殆ド比較サレヌ位ナ兩極端ノ數ニナッテ居ル、是ガ大分參考材料ヲ議員ニ配ラレマシタ結果、議員ニ於テモ調査セラレ、如何ニモ算盤ノ桁ガ違フデハナイカ、此工業俱樂部ノ計算ハドウ見テ居ルカト云フコトデアリマシタ、政府ハ其點ニ付テハ考慮セラレマシテ、工業俱樂部ノ材料ヲ取ラレマシテ、十分ニ計算サレタノデアリマス、政府ノ見ル所デハ工業俱樂部ノ計算ト云フノハ大分誤リガアル、即チ計算ノ方法ニ付テハ誤謬ハ認メスケレドモ、會社ニ付テ利得税額ヲ算定スル方法ニ誤リガアル、又資本ノ算定、所得額ノ算定ニモ誤謬ガアル、大正六年度ノ所得額ノ算定ニモ誤謬ガアル、是ハ重モナルコトヲ申上ゲマシタガ、之ニ付テ尙ホ例ヲ取ラレマシテ、最モ周密ニ説明サレタノデアリマス、是ハ私ハ御取次スルノハ敢テ辭シマセヌガ非常ニ長クナリマスカラ、要點ダケヲ申上ゲテ置キマス、要スルニ工業俱樂部ノ計算ハ根柢ニ於テ誤ッテ居ルト認メル、僅カノ數字上ノ勘定ニ見テモ誤リガアル、又ハソレヲ以テ全般ヲ類推スルト云フコトモ亦誤リデ極メテ危險デアルト云フヤウナコトデアリマス、其勢ハ認メルケレドモ、研究ノ資料トシテハドウモ十分ニ信頼スベカラザルモノデアルト云フコトデアリマシタ、是ハ尙ホ諸君ノ御質問ガアレバ私ハ詳密ニ御答シテ差支アリマセヌ、尙ホ大分細カナ御質問ガアリマシタガ、其中重モナモノヲ三四申上ゲマス、第一個人ノ利得税ノ率ノ割合ハ利得金ノ百分ノ十五トアッテ、法人ハ百分ノ二十、是ハ所得税ニ較ベルト全然反對シテ居ル、是ハドウ云フコトデアアルカト云フ御質問デアリマシタ、ソレニ付テハ是ハ個人ノ場合ニ於テハ、資本ノ増加ト云フコトニ對スル所得額ノ控除ヲ法令ニ規定シテナイ、而カモ個人ハ資本以外ニ自分ノ勞力ヲ以テ利得スルコトガアリ、又所得ノ上ニ於テノ經費デ以テ控除シ難イモノガアル、又斯様ナ場合ハ大分法人ノ場合ト違フカラ、旁々斟酌ヲ加ヘタノデアルト云フヤウナコトデアリマシタ、ソレカラシテ法文

ノ五條二項三號ノコトデアリマスガ、之ニ付テノ御質問ガアリマシタ、是ハ戰時ノ資本増加ノ場合ニ、戰時前ノ利益ノ歩合ヲ以テ算定シタル利得額ヲ平時ノ所得額ト看做ス、ソレガ爲ニ其結果トシテ脱税等ガ起ルコトハナイカト云フ、詰リ五條ノ二項三號ノ適用ニ付テノ御質問ガアッタノデアリマス、是ハ數多ノ委員諸君ヨリ色々ナ場合ヲ以テ御質問ガアッタノデアリマス、ソレニ付テハ當局ハ斯様ニ言ウテ居ラレマス、先ヅ普通此會社ノ利得ハ平時ノ利廻リハ一割位ト見テ居ル、併ナガラ偶ニハ二割三割ノ會社モアラウト思フ、サウ云フ利益ノ多イ會社ガ資本ヲ戰時ニ於テ増加スル、斯様ナ會社デアアルカラ戰時ニモ利益ガアラウト思フ、併シ其場合ニ、若シ此法律ニ規定サレタ條項ガナイ場合ニハ非常ナ不當ナル利得税ヲ拂フヤウニナル、ソレデ此規定ヲ設ケタノデアアル、是ハ穩當ナル規定デアッテ、脱税云々ト云フヤウナ説ガアルケレドモ、是ハ會社ハ皆増資スルト云フ譯デハナイ、平時ノ利廻リノ低イ者ガ脱税ノ爲ニ増資スルト云フモノハアルマイ、會社ノ内容如何ニ依ッテ増資ト云フコトガ起ルノデアアルカラ、無暗ニ増資増資ト云ウテ起ルモノデハナイダラウ、多少二三ノ大會社等ニ付テ偶然脱税ト云フヤウナ計算ガ起ルケレドモ、是ハ偶然デアッテ、大體ニ付テ見マスレバ、此規定ト云フモノハ決シテ脱税ヲ獎勵スルモノデハナイト云フヤウナ意味デアリマシタ、ソレカラ附則ノ規定デアリマス、此附則ノ規定ノ施行期日ノ件デアリマス、是ハ大分質問ガアッタデアリマス、即チ曆年度ト事業年度ト一致シナイ爲ニ、甲ニアッテハ相當ナル課税ガアリ、乙ニハ非常ニ不相當ナル所ノ課税ガ起ッテ、課税ノ不公平ヲ起シヤウニナルガ、是ハドウ云フモノデアアルカト云フ御質問デアリマシタ、即チ或ル會社ニ依リマスルト、曆年度ト事業年度ト一致セザル爲ニ、即チ六年デ頭ヲ出シ、七年後即チ假ニ平和克復ニナル場合ガ起ルト致シマス、其時ニマデ尻尾ヲ出ス、即チ或ル會社ハ一月カラ十二月マデノモアリ、或ル會社ハ前年ニ遡ッテ税ヲ取ラレ、又後年度ニ出テ取ラレルト云フコトニナル、例ヲ以テ言ヒマスルト、十二箇月ノモノモアレバ、中ニハ二年位ハ取ラレルヤウナコトモアルノデアリマス、之ニ付テノ御質問ガアリマシタ、ケレドモ、是ハ政府ノ答辯ヲ以テ見マスルト、會社ノ事業年度ト云フモノハ先ヅ不可分ノモノデアアル、即チ法人ノ利益ノ計算ハ事業年度ノ終ニ於テ之ヲ計算セネバナラスノデアアル、途中デ以テ之ヲ中斷スルコトハ如何デアラウカ、所得税ヲ掛ケル場合ニ於テモ、亦此會社ノ決算後ニ掛ケルノデアッテ、前ニ遡ルト云

フコトハ必スシモ無理デナイ、但シ後ノ年ノ方ニ足ノ出ルト云フコトハ、是ハ實ハ斯様ナ心配ヲ持ッテ居ルノデアル、即チ商人ナドハ機敏デアルカラ、平和克復デアルト云フヤウナコトガ分リマス、サウスルト自分ノ方ノ利益ノ爲ニ其事業年度ヲ延バスコトガアル、サウスルトカラシテ脱税ガ或ハ起ルコトモアルデアラウト思フ、其場合ハ利得税ヲ取レナイ、已ムヲ得ズ是ハ先キニ延バスコトニシタノデアル、是ハ已ムヲ得ナイ結果デアルト云フヤウナコトデアリマシテ、ソレカラシテ此衆議院ノ改正ニナリマシタ所ノ「所得金三千圓」ヲ「利得金三千圓」トシタト云フコトデアルガ、是ハ此三千圓ト云フモノハ一體ドウ云フ根據ニ依ッテヤタモノデアアルカト云フ御質問デアリマシタ、此所得金三千圓ハドウモ如何ニモ酷デアルト云フノデ、是ハ利得ニ變ヘタ、ソレカラ三千圓ト云フ標準ハ是ハ政府ニ於テハ所得税ヲ納メル者ハ日本ニ何人アルカト云フコトヲ見、又所得額ノ分布ニ付テモ研究ヲシタ、其結果三千圓位ノ所得金ノ者ハ先ヅ中流以上ノ者デアルト云フ推定ヲ以テ、此三千圓ト云フコトヲ採ッタルノデアル、別ニ其他ニハ意味ハナイト云フコトデアリマシタ、ソレカラシテ、モウ一ツハ臺灣、朝鮮等ノ殖民地ニ對シテハ課税スルカドウカト云フ御質問デアリマシタ、是ハ衆議院ニ於テハ臺灣、朝鮮等ノ殖民地ニ於ケル所ノ法人ニモ掛ケルト云フヤウニ聞イテ居ルガ、是ハドウデアアルカ、政府ニ於テハ元來殖民地ハ掛ケヌ積リデアッタノデアル、併ナガラ衆議院デ左様ナ議論ガアル、此事ハ決シテ不當デモナイト思フノデアアルカラ、臺灣、朝鮮等ニモ課税スルト云フコトガ起ルデアラウ……課税スル積リデアルト云フコトデアリマシタ、其他細マ細マシイ御質問モ、大分ゴザイマシタガ、是ハ省略イタシマス、最後ニ各案ノ決定ニ付テ申上ゲマス、酒造税法中改正法律案、酒精及酒精含有飲料税法中改正法律案、麥酒税法中改正法律案、此三案ニ付テハ別ニ御異議モナク可決イタシタノデアリマス、所得税法中改正法律案モ可決ニナリマシタガ、唯一員ノ希望ガ出マシタ、ソレハ最モ能ク御質問ガ數多出タコトデアリマシタガ、株式會社ニシテ内容ガ合資或ハ合名會社ト同ジヤウナモノガアル、此取締ニ付テドウゾ政府ニ於テ何トカ提案ヲサレタイト云フ御希望デアリマス、詰リ體ノ好イ脱税ヲスル者ヲ防グト云フコトニ付テ、政府ハ相當ノ提案ヲシテ欲シイト云フ御希望デアリマス、是ハ一員ノ希望デアリマス、ソレカラ戰時利得税法案ニ移ッテ申上ゲマス、一員ノ御質問ニハ此法案ニ付テハ政府ヨリ十分ナル説明モアリ、又我々ノ質問ニ對シテ

御答辯ヲ得タガ、如何ニ致シテモ二三ノ點ニ付テハ了解シ難イ所ガアル、例ヘテ申セバ、此戰時中資本増減ノ會社ト、然ラザルモノトニ對シテ負擔ノ不權衡ナコトガアルヤウニ思フ、又法律施行後資本増加ニ依ッテ脱税ノ虞ナキニシモアラズ、又事業年度ト曆年ト一致セルモノト一致セザルモノトノ課税ニ不權衡ガアルヤウニ思フ、ドウモ隨分他ニモアルカモ知レヌガ、此二點ハ殊ニ目立ツ故ニ修正ヲ加ヘタイト思フノデアル、併ナガラ果シテ此修正ヲ加ヘテ是ガ成案ニナレバ宜シイガ、或ハ之ガ爲ニ政局ノ安定ヲ亂スヤウナコトヲ心配セヌデモナイ、又一方ニ於テハ時局切迫ノ事情ナキニシモアラズデアアルカラ、隨分不備不完ヲ認メル所ハアルケレドモ、此點ヲ考ヘテ同意スル積リデアアル、デ此點ニ付テ政府ノ意見ヲ聽キタイ、併ナガラ修正ノ考ト云フモノハ棄テルノデハナイト云フ確乎タル質問デアリマシタ、ソレニ付テ當局大臣ニ於テモ能ク其意ヲ了承セラレテ、此戰時ノトキノ増資ノ場合、又戰時ニ起ッタ會社ノ場合ノ課税ノ不權衡、又曆年度ト事業年度ト一致セザル爲ニ課税ノ不公平ガアルト云フコトニ付テハ、當局者ハ初メハ左様ニ考ヘテ居ラナカッタガ、段々御話ヲ承ハッテ見ルト、之ニ付テハ理窟ガアルヤウニ思フ、此點ニ付テハ尙ホ一層十分研究調査ヲ致シテ、相當ノ改正ヲ加ヘテ、近キ將來議會ニ提出スル積リデアアル、斯様ナ言明ヲ得タノデ、一員ハ非常ニ満足セラレテ、ソレナラバ自分ハ此案ニ付テハ原案ヲ維持スル、併ナガラ茲ニ全會一致ノ希望の決議ヲ致シタイノデアアル、ソレデ一ノ希望の決議ヲ申サレタノデアリマス、ソレハ斯様デアリマシタ「戰時利得税法案ヲ審査スルニ不備不完ノ廉アリト思考スルモ今ヤ切迫セル時局ニ鑑ミ之ヲ協賛ス政府ハ深ク此點ニ付キ研究調査ヲ遂ケ近ク相當ノ時期ニ於テ更ニ改正ヲ加ヘラレンコトヲ望ム」モウ一遍申上ゲマス

〔再ヒ決議案ヲ朗讀ス〕

之ニ付キマシテ一員カラ質問ガアリマシタ、不備不完ト仰ッシャルガ、ソレハ唯今例ニ述ベラレタ二箇條ダケデアアルカ、ソレニ對セラレマシテ、イヤ、サウデナイ、自分ハ此二點ニ付テ殊ニ氣付イタガ、他ニモアルカモ知レヌ、又アリトスレバ無論改正ヲ希望スルノデアアル、之ニ依リマシテ委員會ニ於キマシテハ、此希望の決議ニ付キテハ全會一致賛成デアリマシタ、即チ政府ハ次ノ時ニ於テ改正案ヲ出スト云フコトノ言明ヲ得タノデ、全會一致ヲ以テ此案ヲ認メタノデアリマス、終リニ臨ミマシテ尙ホ一員ノ希望ヲ申上ゲテ置キマ

ス、ソレハ法人ハ大正八年後利得稅ヲ經費トシテ控除スルガ、個人ニハ斯様ナコトハナイ、如何ニモ稅率ニ違ヒガアリ、又是ハ取扱上已ムヲ得ヌコトデアルト思フケレドモ、甚ダ不權衡デアル、此點ハ注意シテ貰ヒタイ、又能ク地方ニ於テハ收稅官吏ノ苛斂誅求ハ屢、聞クコトデアアル、此點ニ付テハドウゾ當局ハ訓示ヲシテ貰ヒタイ、是ハ一員ノ希望デアリマス、之ニ對シテ當局大臣ハ其意ヲ了承セラレマシテ、將來注意スルト云フコトデアリマシタ、斯様ナ次第デゴザイマシテ此案ハ通過イタシタノデアリマス、先ヅ大體不完全ナガラ之ヲ以テ報告ハ終リマス、何卒諸君ニ於カレマシテモ委員長ノ報告ニ御賛成アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 先キニ議長ハ唯今委員長ノ報告セラレマシタ第二ヨリ第六マデノ法案ヲ一ツ一ツ問題ニ供シマスト申述べマシタガ、御異議ガナケレバ第二ヨリ第五マデノ法案ハ一括シテ問題ニ供シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔男爵武井守正君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 武井男爵ハ第六デハアリマセヌカ

○男爵武井守正君 ハイ

○議長(公爵德川家達君) 第六ハ問題ニナツテ居リマセヌ

○男爵武井守正君 東ネテ問題ニ供サレタノデハゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 第二カラ第五マデト申述べタ積リデゴザイマス……第二ヨリ第五マデノ法案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○男爵中川興長君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○男爵高木兼寛君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クベシトスル中川男爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス……

全部原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○男爵中川興長君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○男爵高木兼寛君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 次ニ問題ニ供シマスノハ第六ノ法案、戰時利得稅法案、武井男爵ハ……

○男爵武井守正君 之ニ付テ少シク意見ガアリマス

○議長(公爵德川家達君) 意見ヲ御述べニナル、宜シウゴザイマス、武井男爵

〔男爵武井守正君演壇ニ登ル〕

○男爵武井守正君 戰時利得稅ニ付キマシテハ本員ハ大ニ賛成スル者デアリマスルノミナラズ、頗ル希望スルモノデアリマス、抑、船舶管理令ト戰時利得稅ナルモノハ戰局ノ間モナク列國デハ皆之ヲ施行シテ居リマスノニ、獨リ我が帝國ノミ施行セラレマセナシタノデゴザイマス、昨年ニ至ツテ船舶管理令ガ出マスル、此度戰時利得稅ガ出マシタノデゴザイマスガ、此案ガ出マシタニ付キマシテハ本員ハ頗ル期待シテ居ッタコトデアリマスカラ、喜ンダノデゴザイマス、然ルニ其案ヲ一讀イタシマシテ頗ル驚愕ヲシタノデゴザイマス、抑、此利得稅ナルモノハ此時局ニ對シマシテ國防充實ノ爲ニハ最も好イ課稅ト思フノデゴザイマス、之ヲ課稅スルニ付キマシテハ、天下誰モ異論ノナキコトデアラウト信ジマス、信ジマスケレドモ、此本案ヲ見マシテハ、奈何セム、課稅法ガ頗ル不公平デアアルノデゴザイマス、不公平ニ涉リマスルカ

ラ實業界デハ頗ルヤカマシイ、又我が同僚間ニモ議論ガ紛々トアルノデゴザイマス、ソレニ對シマシテハ政府ガ辯明書ノ如キモノヲ我ニ御配リニナリマシタ、御配リニナリマシタケレドモ、總テ理論ニ馳セテ一向辯明ニナッテ居ラヌト私ハ考ヘルノデゴザイマス、元ト計數ノコトデゴザイマスカラ、算盤カラ出マスルコトデゴザイマスカラ、理窟デ以テゴマカス……ゴマカスト申シタノハ甚ダ失言デゴザイマス、左様ナ汚ナイコトヲ申スノデゴザイマセス、是ハ取消シマス、計數ノコトヲ議論ヤ理窟ヲ論サレマシタ所ガ、決シテ誰モ感服スルモノデナカラウト存ジマス、今其不公平ナルコトヲ實例ヲ舉ゲテ申シマスレバ、忽チ氷解サレマスコトデゴザイマスケレドモ、數字ヲ申出シマシテハ頗ル諄々シクナリマスカラ、ソレハ省キマシテ申上ゲマセヌ、申上ゲマセズトモ當局ニ於テモ萬々御承知デアルコトト存ジマス、御承知デハゴザイマスケレドモ、一旦提案セラレマシタノデゴザイマスカラ、強ヒテ説ヲ付ケテ無理ニモ此儘ニ通過ヲサセタイト御圖リニナルノデアラウト存ジマセヌガ、地ヲ換ヘテ考ヘマスト、決シテソレモ御無理トハ存ジマセヌ、尤モ五條ノ如キハ算盤上カラ出マスノデ、チヨット分リニクウゴザイマスケレドモ、附則ノ如キハ、例ヘバ本年中ニ終局スルモノト致シマシタナラバ一箇年ダケヲ出スモノ、一箇年半ヲ出スモノ、將タ二箇年分ヲ出スモノトナリマシテ、是ハ三尺ノ童子デモ不公平ナリト申スデアラウト存ジマス、恆久稅デアリマセバ、即チ所得稅ノ如キハ初ノ期ニ於テ負擔ニ差等ヲ生ジマスケレドモ、其不公平ノ程度ガ輕ウゴザイマスカラ、餘リヤカマシクハゴザイマセヌ、此戰時利得稅ノ如キ一時稅ニアリマシテハ不公平ノ程度ガ極メテ重ウゴザイマスカラ、人ノ折合ハヌノモ其筈デアルト私ハ考ヘルノデゴザイマス、凡ソ政治ヲサレマスル上ニ於キマシテ何ガ一番惡イカト申シマスルト、不公平グラキ民心ヲ損フモノハナイト私ハ考ヘマス、茲ニ於テ本員ハ政府今後ノ威信上ニ甚ダ憂慮スルモノデゴザイマス、併ナガラ唯今委員長ノ御報告ニナリマシタ通りノ理由ニ依リマシテ、大藏大臣ノ言明ニ信賴イタシマシテ、委員會ニ於テモ私ハ率先賛成シタノデゴザイマス、皆サンモ蓋シ私同様に御考デ居ラセラル方々ガ多イト存ジマスカラ、私同様ノ意味ニ於テ本案ニ御賛成アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御發言モナイト認メマスカラ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○男爵中川興長君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵高木兼寛君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○男爵中川興長君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○議長(公爵徳川家達君) マダ御早ウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス……全部原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○男爵中川興長君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵高木兼寛君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第七、臨時國庫證券法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

臨時國庫證券法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正七年三月一日

貴族院議長公爵徳川家達殿

右特別委員長

伯爵松平 頼壽

〔伯爵松平頼壽君演壇ニ登ル〕

○伯爵松平頼壽君 臨時國庫證券法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、此改正法律案ノ趣意ニ付キマシテ政府委員ノ説明イタシマシタ所ヲ一應御話ヲ申上ゲマス、此法律案改正ノ趣旨ト云フモノハ輸出爲替資金ノ疏通ヲ圖リ、又聯合與國ニ對スル輸出軍需品代金決済ノ便ニ致シマス爲ニ、前特別議會ニ提出イタシテ發行最高額二億圓トシテ議會ノ協賛ヲ經タモノデゴザイマスルガ、然ル所今日既ニ二億圓ハ發行イタシマシテ、尙ホ今日ノ有様デ參リマスレバ、此上更ニ三億圓ヲ増加ヲシナケレバ總テノ運用ニ差支ヘルト云フ所カラ、此三億圓ト云フモノヲ増スト云フ改正法律案デゴザイマスサウデアリマス、ソレデ此二億圓ハ主トシテ輸出軍需品代金決済ノ便ニ致シマス方法ヲ設ケテ參リマシテ、爲替資金ノ疏通ヲ圖リマス方ニハ廻リ切ラナカッタノデアリマシテ、此爲替資金ノ方ハ他ノ會計ノ方面ヲ處理シテ參ッタノデアリマスガ、此度ノハ他ノ方面ノ力デハ足りナクナリマシテ、迎モソレデハ及ビマセヌ、ソレノミナラズ、且ツ軍需品代金決済ノ方ニモ甚ダ力ヲ添ヘテ、兩方カラ之ヲ運用シタイ爲ニ三億圓ト云フモノヲ發行スルノデアルト云フコトデアリマス、又此三億圓ト云フモノヲ、何故三億圓ト云フ標準ヲ立テタカト申シマスルト、ソレハ數字のニ必ズ三億圓出ルト云フ風デ致シタノデナクシテ、現在軍需品ノ代金決済ノ狀況竝ニ國ニ貸借ノ關係上、爲替資金ノ疏通ヲ圖ルニ大凡此位ノ資金ヲ備ヘタナラバ宜カラウト云フ方針ヲ以テマシテ、大體ニ於テ三億圓ニシタ次第デアルト云フ御説明デゴザイマス、ソレデ此改正法律案ノ中ニモ、唯「第二條中」二億圓ヲ「五億圓」ニ改ムト云フダケノコトデゴザイマスノデ、政府委員ハソレダケノ説明デゴザイマシタ、委員會ニ於キマシテ大分質問モゴザイマシタガ、質問ノ重ナルモノヲ二三申上ゲテ置キマス、其中デ前ニ發行イタシマシタ所ノ二億圓ト云フモノハドウ云フモノニ使ッタカト云フ御質問ガゴザイマシタ、是ハ政府委員ノ説明ニ依リマス、露國大藏證券、即チ日本デ發行シマシタ所ノ露國大藏證券ノ方ニ運用ヲ致シテ參リマシテ、其露國大藏證券ヲ日本デ保有イタシテ居リマス所ノ高ト云フモノハ二億五百萬圓程アルノダザウデアリマス、又民間ニモ多少ア

リマスガ、民間ノ方ハ極ク少ウゴザイマシテ、三萬九千圓バカリ民間ニアルト云フコトデゴザイマス、ソレカラ又聯合與國ニ對シマシテ軍需品ノ代金未決済ノ額ハドノ位アルカト云フ御質問モゴザイマシタガ、是ハ政府委員ノ説明ニ依リマスレバマダ一億九千萬圓、即チ官民合セテ一億九千萬圓位アルト云フコトデゴザイマス、又御質問ノ中ニ今ノ現在ノ露國ノ政府ヲ正當ノ與國ト看做スカ如何ト云フ御質問ガゴザイマシタガ、是ハ政府トシテハ今ノ政府ハ今何トモ言フコトハ出來ナイケレドモ、前ノ「レニ」政府、其前ノ政府ハ正當ノ與國ト看做シテ、總テノコトヲ取扱ッテ居ルト云フヤウナ御説明デゴザイマシタガ、其外イロ／＼御説明ガゴザイマシタケレドモ、ソレハ總テ速記録デ御承知ニナルコトト存ジマシテ、茲ニ御報告ハ省キマスデス、唯委員會ノ經過及結果ヲ申上ゲテ置キマス、委員會ニ於キマシテハ別段質問ダケデ、討議モアリマセズシテ、全會一致ヲ以テ之ヲ可決イタシマシタカラ、右御報告ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○伯爵松平頼壽君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

○男爵高木兼寛君 賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クト云フ動議ニ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス……原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵松平頼壽君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○男爵高木兼寛君 賛成

○小野田元熙君 賛成

○議長(公傳德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公傳德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公傳德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通

リテ御異議ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公傳德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公傳德川家達君) 日程第八、遠洋漁業獎勵法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

遠洋漁業獎勵法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正七年二月二十八日

右特別委員長

伯爵松浦 厚

貴族院議長公傳德川家達殿

「伯爵松浦厚君演壇ニ登ル」

○伯爵松浦厚君 唯今ヨリ遠洋漁業獎勵法中改正法律案ノ特別委員會ニ於キマシテ討議イタシタコトヲ玆ニ御報告イタシマス、此委員會ハ兩度ニ互リマシテ會議ヲ開キマシタガ、此問題ハ殊ニ此時局ニ取リマシテハ大切ナコトデアリマシテ、最モ樞要ナコトト考ヘマス、御承知モアラセラル、通リニ、此法律ハ大正九年ノ三月ニ施行期限ガ終了イタスノデゴザイマシテ、僅カ餘ス所ハ二箇年餘リデゴザイマスカラ、之ヲ此儘繼續スルニハ、時勢ニ應ジマシテ法律案ヲ改正シナケレバナラス必要ガアル、幸ニ今日ノ機會ニ於キマシテ、此時勢ニ於テ最モ必要ナ點ヲ改メテ、更ニ此法律ヲ繼續シタイト云フ政府ノ提案デゴザイマス、時勢ハ益々天然ノ資源ヲ開發スルノヲ急務ト感ジテ居ル次第デアリマシテ、又遠洋漁業方法モ段々ト進歩發達ヲ來シマシテ、其施行期限ヲ延長イタシマシテ、又獎勵金ノ増加ト云フモノモ又必要ナ場合ニ立至ッタノデゴザイマス、左様ナッテ參レバ、自然此目的ヲ達シ得ルコトニナル

ノデゴザイマス、即チ此改正法律案ハ時勢ノ要求ニ應ジマシテ提出サレタル所ノモノデアリマシテ、此期間ヲ尙ホ是カラ十五年繼續イタシマシテ、獎勵金ヲ五割増加スルト云フコトニナリマシテ、即チ今ノ二十萬圓ヲ三十萬圓ニ殖ヤスト云フコトニナリマシテ、其内容ハ唯今申ス通りニ相當ノ改正ヲ加ヘテ、時勢ノ進運ニ伴フヤウニ致シタイト云フコトデアリマシタ、其改正ノ要點ハ唯今マデノ所ハ、御承知モアラセラル、通リニ、一般ノ漁業ニ付テ獎勵ヲサレタコトデアリマスケレドモ、今日ハ多クハ一般ノ漁業獎勵ト云フモノハ歩ヲ進メタ次第デゴザイマスカラ、特別ノモノノ獎勵ヲナスト云フコトガ此案ノ骨髓ト考ヘルノデアリマス、ソレデ今日マデ今漁民ノ直接ニ從事シテ居ラヌヤウナルモノニ付テ此獎勵ヲシタイト云フコトデアリマスカ、先ヅ一例ヲ舉ゲテ見レバ、即チ漁船ハ流シ網トカ、延網トカ、或ハ巻網トカ、斯ノ如キモノハ今日マデ多ク遠洋漁業ニ行ハレテ居ラナカッタ、斯ノ如キ新漁業ノ創始ヲ企圖シタイト云フノガーツデアリマス、又漁獲物ノ處理法ニ付テハ今日マデヤッテ居リマシタガ、十分ニ是ガ行届イテ居ラヌコトデアリマスカラ、其改善ヲ計リタイト云フコトデアリマス、例ヘバ今日マデハ氷船ト云フモノガアリマシタケレドモ、十分ニ鞏固ナモノヲ以テ遠洋ニ運ブコトハナカッタノデアリマス、今日斯様ナモノモ實施シテ、又鹽ニ於テ魚ヲ貯藏スルコトガ十分ニ進歩シテ居ナカッタガ、其方モ十分ニ力ヲ入レテヤリタイト云フコトデ、合セテ輸入ノ盛ナルコトヲ獎勵スル考デアリマス、而シテ海外ノ漁業ノ利益發達ヲ計ラウトスルノガ此案ノ精神デアリマス、其方法ト致シマシテハ如何デアアルカト申セバ、御承知モアラセラル、通リ、本邦ノ漁業ノ中堅ト云フモノハ即チ小船漁業、小サナ船デ漁ヲ致スノデアリマス、是ガ即チ今日マデノ本邦ノ漁業ノ中堅ト申スモノデアリマスカ、如何セムヤ其漁船ノ製造ガ不十分デアッタ爲ニ、十分ニ發達シテ居ラヌ譯デゴザイマシタ、付キマシテハ此構造方法ヲ改良シ獎勵シテ參ッタラ、十分ニ此漁業ガ發達スルデアラウ、付キマシテハ毎年凡ソ百隻バカリノ改良漁船ヲ造ッテ、十五年ニ至ッテ此目的ノ全部ヲ達シ得ルコトニナルト云フコトデアリマス、第二ハ大船漁業、此大船漁業ハ諸君モ御存知ノ通り、大ナル會社ニ依ッテ組織サレタモノデアリマスカラ、即チ漁團ヲ以テヤッテ居ルノデアリマスカラ、隨分資本モ澤山アリマスカラ、強ヒテ之ヲ政府カラ獎勵セラレル爲ニ資金ヲ投ズル必要モナイカモ知レマセヌガ、中ニハ企業者ノ間ニ遠洋漁業ニ疑心ヲ以テ恐レ

ヲ懷イテ居ル者モ澤山アル、左様デアリマスカラ、ソレヲ除ク爲ニ、其疑悞心ヲ去ラセル爲ニ一二、種類ノ違ッタモノヲ二三隻ヅ、毎年製造イタシテ、サウシテ補助的ニ且ツ獎勵的ニ進メテ參ッタナラバ、此大船漁業モ發達スルダラウト云フコトデアリマス、是モ十五年此事ニ付テ獎勵シテ行ッタナラバ、見込ガ立ッダラウト云フコトデアリマス、第三ハ新規ノ漁具、新漁法ヲ試ミ、又漁獲物處理法、運搬及其販路ヲ研究スルコト、竝ニ新シイ漁場、ソレニ出漁セムスル漁業、斯ノ如キ特殊ナル漁業ヲ獎勵シタイト云フコト、第四ハ海外ノ出漁者ノ利益増進ヲ目的ト致シマシテ、公益法人ニ對シテ、即チ此漁人團ト云フモノガアリマシテ、少數、多數ノ團體ガアリマス、斯ノ如キモノヲ指スノデアリマス、海外ニ參ッテ居ル者ノ其發達ヲ計ラムトスルノ趣旨デアリマス、例ヘバ今日即チ露領ノ水産組合ト云フノガアリマスガ、即チ斯ノ如キ性質ノモノヲ申スノデアリマス、大體ハ此度ノ獎勵法ノ改正ノ趣旨デアリマスガ、此委員會ニ於キマシテ二三ノ委員デ熱心ニ此問題ニ付テハ注意ガアリマシテ、政府委員ニ質問ガ數多ゴザイマシタ、其中ノ一二眼目トナル點ヲ茲ニ申上ゲマスガ、其一ハ此遠洋漁業ト云フモノハ一體政府ニ於テハ南方ノ方ヲ重ニ獎勵スルノデアルカ北方ヲ重ニ獎勵スル積リデアルカト云フ質問デアリマシタ、之ニ付テハ政府委員ノ詳細ナル答辯ガアリマシタガ、無論南方ノ方モ顧ミヌデハナイ、既ニ今日モ南ニ於テハ一ハ新嘉坡、一ハ上海、其方面ニ於テモ此漁業組合ノ根據地ガアリマスガ、又南米ノ方面ニモ手ヲ伸バシタイト云フ考ガアルケレドモ、政府ノ今日ノ希望トシテハ多ク北方ノ漁業ニ手ヲ伸バシテ、進歩發達ヲ計リタイト考ヘル、如何トナレバ、此北方ハ漁業ニ於ケル所ノ金庫、寶庫トモ云フベキ場所デ、又多ク開發スベキ所ヲ開發シテ居ナイノデアリマスカラ、此時局ノ際ニ於テ大ニ之ヲ開發シタナラバ、即チ我國ノ大ナル財源ヲ來スコトニナラウト思フノデアリマス、今申上ゲマスル通りノ地方、即チ露領沿海州、「オホツク」海、露領沿岸ノ漁撈デアリマス、其方ニ力ヲ注ギタイト云フコトガ即チ政府委員ノ答辯デアリマシタ、皆之ニ付テハ其意ヲ諒サレタノデアリマス、其次ノ質問ハ是ハ現今ノ歐洲戰爭ノ戰況ハ時局ニ關聯イタシテ、サウシテ「トロー」ル船ヲ驅逐艦ノ代リニ代用シテ居ル、斯ノ如キ問題カラ起リマシタ質問デアリマスガ、今日政府ニ於カレテハ此歐羅巴各國ニ實際用ヒラレテ居ル所ノ「トロー」ル船ヲ、日本ニ於テモ今後若シヤ時局ノ紛糾ヲ來ス上ニ用ヒル場合ガアリハセヌカ、其場合ニ於

テハ今日大ニ「トロー」ル船ノ構造ヲナサシメテ「トロー」ル船ノ使用ヲ發達セシメテ置イタナラバ、之ニ對スル臨機ノ利益ヲ得ルコトニナリハセヌカト云フコトモゴザイマシタ、之ニ付テハ政府當局者モ賛成ノ意ヲ表サレタノデアリマスケレドモ、御承知ノ通りニ此「トロー」ル船ト云フモノハ先年來屢々獎勵セラレタ結果、大ニ「トロー」ル船ノ利益ハ分リマシタケレドモ、其「トロー」ル船ヲ餘リ用ヒ過ギタ爲ニ、各地ノ漁民間ニ紛擾ヲ來シ、其爲ニ弊害ヲ來シ、遂ニ之ヲ制限セネバナラスト云フコトニ際會イタシマシテ、此戰時前ハ凡ソ百四五十艘ノ「トロー」ル船ガアリマシタケレドモ、今日ハ制限數ガ七十隻ニシテ、現在日本ニ存在スルハ漸ク六十五隻ニ上ラスト云フコトデアリマス、今日此「トロー」ル船ガ如何ニ時局ニ必要ガアルト考ヘテモ、多ク構造シ、獎勵スルト云フコトハ聊カ政府ノ方針ト矛盾スル點モアルト云フ懸念モアル、又一方カラ見マス、之ニ對スル獎勵金ハ唯今申上ゲル通りニ漸ク五割増三十萬圓ノ獎勵金デハ、逆モ大ナル獎勵ヲ鼓吹スルト云フコトハムツカシイト云フ懸念モアリマス、併ナガラ政府當局ニ於カレマシテ此委員カラノ質問竝ニ希望ト云フコトニ付テ能ク受ケラレマシテ、且ツ海軍省、遞信省トモ此方ニハ共同一致農商務ニ諮ラレマシテ、一ハ軍事ニ對スル防禦船トモナルシ、一ハ漁獲上ノ利益ヲ計リ、且ツ便利ヲ計ル方ヲ十分ニ計リ、又遞信省ノ方ノ船舶ニ對スル取締上差支ナイ所ノ範圍ノ船ヲ造ルト云フコトハ三省ニ於テ話ガ付キマシテ、出來ル限り委員ノ希望ヲ容レ、且ツ國民ノ不利益トナラヌヤウニ、又國防ニ成ルタケ利益ヲ擧ゲ得ルヤウニシテ、此三方面ニ對シテ遺憾ナカラシムルヤウニシタイト云フコトヲ明白ニ答辯ガアリマシタ、之ニ付キマシテ中ニハ餘程機密ニ關スル點モゴザイマスカラ、細カナ點ハ申上ゲマセヌ、先ヅ此漁業法改正法案中ノ骨髓トナル點ハ是デゴザイマシタカラ、此問題ハ唯今マデ申上ゲマス通りニ、時局上ニ付キマシテ大切ナル問題、又國ノ富ヲ殖ヤスニ大切ナル問題デゴザイマスガ、且ツ一括シテ見マスレバ實ハ簡單ナル問題デゴザイマスカラ、此再度ノ會議ニ於キマシテ、全會一致之ヲ可決イタシマシタ次第デアリマス、尙ホ此席ニ於キマシテモ唯今申シマスルヤウニ極ク明瞭ニシテ簡單ナル法律案デゴザイマスカラ、讀會ヲ省略シテ、直チニ御可決アラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵奧平昌恭君 讀會省略ニ賛成

○伯爵吉井幸藏君 賛成

○子爵西大路吉光君 讀會省略ニ賛成

○男爵肝付兼行君 讀會省略ニ賛成

○男爵内田正敏君 讀會省略ニ賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○男爵山内長人君 賛成

○平山成信君 賛成

○室田義文君 賛成

○鈴木摠兵衛君 賛成

○田島竹之助君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 松浦伯爵ノ讀會ノ順序ヲ省略スルト云フ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第九、軍用自動車補助法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

軍用自動車補助法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正七年三月二日

右特別委員長

伯爵川村 鐵太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵樋口誠康君演壇ニ登ル〕

○子爵樋口誠康君 委員長ノ川村伯爵ガ今日ハ御缺席デゴザイマスルカラ、軍用自動車補助法案委員會ノ經過竝ニ結果ヲ本員ヨリ御報告イタシマス、本案ハ先日當議場ニ於キマシテ陸軍大臣ノ御説明ノアリマシタ如ク、自動車、自動貨車ヲ三噸級ト四噸級ト二ツニ定メマシテ、之ヲ民間ニ使用セシムルコ

トトシテ、有事ノ日ニ徵用スルト云フ趣旨デアリマス、之ニ關シテハ陸軍ニ
アツテハ制式ノ常ニ進歩イタシマスル今日ニ於テ、新陳代謝ト云フ所ノ利益
ガゴザイマス、又此自動車ヲ軍用ニ用ヒマスルト、馬ノ不足ヲ補フト云フ利
益モゴザイマシテ、時勢ニ最モ適應シタル法案デゴザイマス、而シテ其質問
應答ノ要旨ノ重モナルモノヲ一二綜合シテ申上ゲマスルト、三噸級或ハ四噸
級ト定メタノハ、四噸級ハ其積載量ガ一噸半、三噸級ハ一噸、是ハ陸軍ニ於
テ戰時、例ヘバ滿洲地方ニ用ヒル場合ニハ成ルベク大型ノモノヲ用ヒル方ガ
利益デアリマススケレドモ、日本ノ内地ニアツテ之ヲ用ヒルコトガ道路ノ關係
上出來ナイノデゴザイマス、或ハ四噸級モ場合ニ依ツテハ或ル地點ハ支障ガ
アルカト思ヒマス、併ナガラ餘リ又小サナ三噸級以下ノモノヲ用ヒマスルト
陸軍ニ於テハ誠ニ不利益デアアル、總テノ點ニ使用者ニ不利益デアアル、故ニ先
ヅ四噸級或ハ三噸級ト二ツニ決メタ譯デアリマス、勿論此決メルニ付テハ實
際ノ試験モヤツテ見テ、極ク都合ガ宜イ成績デアアル、經費ノ點ニ付テ申上ゲマ
スト僅ニ四萬餘圓シカ豫算ニハ計上シテナイ、兎ニ角本年ハドウ云フ見込ニ
ナルカヤツテ見ルト云フダケノ經費デアアル、來年度カラハ總テノ狀況ニ應ジテ
漸次殖ヤシテ行ク見込デアアル、而シテ陸軍ニアリテハ此自動車ヲドレダケ御
入用ガアルカト云フコトニ付キマシテハ、大凡三千五百臺バカリ要ル、併ナ
ガラ此多數ノ自動車ヲ民間カラ一時ニ求メルト云フコトハ難イカラ、兎ニ角
此法案ガ施行サレテ、漸次先ヅ約半數ノ千七百臺ヲ此法案ニ依ツテ得ル見込
デアアル、併シ其千七百臺モナカ／＼此法案ニ依ツテ直グト得ルト云フコトハ
難イカラ、漸次出來得ルダケ速ニ得タイ、金ノ勘定カラ先ヅ内部デ決メテ居
ルノハ、大凡二十箇年位カ、ルダラウト云フヤウナ御話デゴザイマシタ、次
ニハ一臺ノ價格ノコトヲ申上ゲマスルト、米國デ造リマスルト大凡五千圓位
デ出來ル、内地デハ色々製作ノ關係上七千圓位ヲ要スル、現今陸軍ニ在ッテハ
陸軍部内デ造リマスル所ノ自動車ノ價ガ大凡七千圓餘リカ、ソレ故ニ内外ノ……即チ外
モ、併シ又漸次進シダナラバ此以内デモ出來ル、ソレ故ニ内外ノ……即チ外
國デ製作イタシマシタノト、サウシテ内地デ製作イタシマシタ所ノ其差額ノ
二千圓ヲ、之ヲ製造補助金トシタ譯デアアル、尙ホ之ヲ使用スル上ニ付テハ馬
車ト比較シテ見ルト、馬車ヨリモドウシテモ高ク付ク、其高ク付ク計算ハ大
凡二千五百圓内外、自動車ヲ使ヘバ損ガ行クト云フ勘定ニナルカラ、使用者
ニハ購買補助金トシテ先ヅ千圓ヤル、其上五箇年ニ割當テ三百圓ヲ年々維持

補助金トシテ補助スルコトニナツテ居ル、次ニハ此保護自動車ヲ外國人ニ對シテ擔保ニ供スルコト云フコトガアルガ、若シモ負債ノ爲ニ差押ヲサレタ時分ニハドウナルカト云フコトニ對シマシテハ、第八條ノ法規ニ依ツテ「主務大臣ハ軍用ノ爲何時ニテモ保護自動車ヲ收用或ハ使用スルコトヲ得」ト云フ條文ニ依ツテ之ヲ徵用スルト言ハレマシタ、併ナガラ戰時ハ兎モ角モ、平時ニ於キマシテハ是ハ餘程手心ヲ要スルコトデ、無論其事ニ付テハ注意ヲスル、此司法權ノコトト、サウシテ徵發ノコトノ關係ニ付キマシテハ我々素人ハ能ク分リマセスガ、殊ニ此點ニ付キマシテハ河村讓三郎君ガ委員長ノ許可ヲ得テ、サウシテ質問ヲサレマシタカラ、特ニ申上ゲテ置キマス、其他ニ種々ノ質問モゴザイマシタクレドモ、一々申上ゲマセス、兎ニ角此法案ハ日本ニ於キマシテ初メテ出來タ法案デゴザイマシテ、委員會ニ於キマシテモ最モ慎重審議ヲ遂ゲマシテ、箇條ガ少イニモ拘ラズ、會議モ二回マデ開キマシタ次第デゴザイマス、尙ホ衆議院ノ修正ニハ政府モ反對ヲシナイト云フ御意見デゴザイマシタ、右様ノ次第デゴザイマス故ニ、採決ノ場合ニ於キマシテハ何等ノ異議ナク、全會一致衆議院ノ修正通り可決ニナツタ次第デゴザイマス、尙ホ或ル議員ヨリハ希望ガ出マシテ、此ニ御報告ニ附加ヘテ置キマス、其希望ハ此法案ハ獎勵ノ先ヅ門戸ヲ開イタト云フガ如キモノデアル、併ナガラ民間自動車ノ製造能力モ甚ダ幼稚デアルカラ、或ハ適當ダラウト思フ、併シ今日歐洲竝ニ近鄰ノ諸國ニ對シマシテハ甚ダ緩慢ナ法案ト思ヘル、故ニ好キ方法ヲ見出ス場合ニハ速ニ改正サレテ欲シイト云フ希望デゴザイマシタ、モ一ツハ此法案中ニハ命令トカ或ハ規定トカ云フモノヲ以テ自動車ノ構造或ハ能力ヲ決メルト云フコトガアル、是ハ民間ニ於テハ陸軍ヨリヨリ以上ノ發明ヲ爲ス場合モアルト考ヘラレル、ソレ故ニ其進歩ヲ妨ゲナイ程度ニ於テ規定ヲ決メテ欲シイト云フ意味ノ希望デゴザイマシタ、是等ノ希望ニ對シマシテハ當局者ハ能ク了承イタサレマシタ次第デゴザイマス、右御報告ヲ終リマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言モナイト考ヘマスカラ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス
○子爵樋口誠康君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……
○男爵石黒忠恵君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス……

全部原案ニ御異議ゴザイマセスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵樋口誠康君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○男爵高木兼寛君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異存ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通りデ御

異存ゴザイマセスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異存ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第十、大正五年法律第四號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

大正五年法律第四號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正七年三月一日

右特別委員長

伯爵松平 賴壽

貴族院議長公爵德川家達殿

「伯爵松平賴壽君演壇ニ登ル」

○伯爵松平賴壽君 是ヨリ大正五年法律第四號中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、此法律案ハ今現在第一分科會ニ於キマシテ豫算ニ計上ニナリマシテ、豫算ト關聯シテ居リマスル問題デアリマスノデ、豫算

ノ方ノ委員ノ都合ヲ見マシテ此委員會ヲ開キマシタ次第デゴザイマス、デ此大體ノ政府ニ於キマシテノ説明ヲ一應申上ゲマスルガ、此法律ハ大正三年臨時事件ノ經費支辨ニ關スル法律デゴザイマシテ、今マデ此臨時事件ニ關スル經費ニ充テテ居リマス所ノ財源ハ、從來ハ特別會計ニ於キマシテ、特別收入一般會計カラ繰入レマシタル金額、其他特別會計ニ屬シテ居リマスル所ノ資金ノ繰入金又ハ借入金、公債募集金等ニ財源ヲ求メテ居リマシタ次第デゴザイマス、又臨時事件豫備費ニ付キマシテハ、此臨時事件ニ伴ッテ這入ッテ參リマス所ノ特別收入ト、ソレカラ國庫剩餘金ヲ以テ之ニ充テテ參ッタノデアリマス、然ル所時局ガ段々長引キマスノニ付キマシテ、其費用モ多額ニ上ボッテ參リマシテ、從ッテ其財源ヲ主トシテ國庫剩餘金ニ求メルト云フコトハ、歲計上大層困難デアリマスル、ソレ故ニ此改正法律案ヲ提出シマシテ、此金額ヲ殖ヤサウト云フ意味ダサウデゴザイマス、ソレデ現行、改正前ニハ三千四百萬圓ノ借入金、又ハ公債募集ヲ爲スコトヲ得ルコトニナッテ居リマシタノデアリマスルノヲ、此度此範圍ヲ擴ゲマシテ、大正七年度ノ豫算編成ノ時ニ、臨時事件特別會計ニ屬スル所ノ財源ト致シマシテ、其財源ヲ主トシテ借入金及公債募集金ニ求メルコト、又臨時事件豫備費ニ付キマシテ、其一部ヲ借入金ニ求メルコトガ出來ルヤウニシタイト云フノデアリマシテ、ソレデ其臨時事件特別會計ノ内デ、三千百餘萬圓ト云フ一般會計ニ於ケル所ノ臨時事件豫備費ノ内ニ二千百萬圓ヲ借入レ、又ハ公債募集ニ求メルコトニ致シテ、豫算ヲ編成シマシテ、其結果雙方合セマスト五千四百萬圓ニナリマスル、ソレ故ニ五千四百萬圓ヲ前ノ三千四百萬圓ニ寄セマシテ、即チ八千八百萬圓、即チ今マデノ數ガ少シ數字上ニ於テ減ッテ居リマスガ、ソレハ繰入レマシテ八千八百萬圓ニナルノデアルト云フ御説明デゴザイマシタ、此委員會ハ政府委員ノ御説明ヲ得マシテ、二三御質問ガゴザイマシタゲデ、別段大シテ御質問モアリマセズシテ、是ハ豫算ニ關聯シテ居リマスモノデスカラ、豫算ノ方ト同步調ヲ取ルベク思ヒマシタノデ、其結果委員會デハ之ヲ可決イタシマシタ次第デアリマス、質問モ大シタ質問モアリマセヌガ、少シバカリノ質問ハ總テ速記録ニゴザイマスカラ御覽ヲ願フコトニ願ッテ置キマシテ、唯委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシテ、是デ終リマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○伯爵松平賴壽君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

○男爵中川興長君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ヲ開キマス……原案ニ御異存ゴザイマセスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵松平賴壽君 直チニ御三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○男爵中川興長君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通りデ御

異存ゴザイマセスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第十一、朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告

朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正七年三月一日

右特別委員長

伯爵清閑寺經房

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵清閑寺經房君演壇ニ登ル〕

○伯爵清閑寺經房君 是ヨリ朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案ノ委員會ノ御報告ヲ致シマス、本委員會ハ二回開キマシテ、極メテ鄭重ニ審議ヲ致シマシタ、所ガ是ハ現行ノ法律ニ於キマシテハ、朝鮮人ニシテ舊韓國政府、又ハ統監府、若クハ其所屬官署ニ在勤ヲシテ居リマシタ間ノ期間ト、ソレカラ今一ツハ明治四十三年ノ八月ニ朝鮮ガ帝國ニ合併ニナリマシテ、サウシテ朝鮮總督府ト云フモノガ其時ニ設置ニナリマシタ、其後總督府官制ト云フモノガ實施ニナリマシタ、ソレマデノ期間ト、兩方ハ共ニ通算ヲセスト云フコトニナツテ居リマス、然ルニ一方朝鮮官吏ノ職務ハドウデアツタカト考ヘテ見マスルト、朝鮮統監府ノ指揮命令ノ下ニ働イテ居リマシタ、而カモ忠實ニ勤メテ居リマシタカラ、其者ニ對シマシテ、我國ノ官吏同様に恩給ノ恩典ニ浴セシムルト云フコトハ當然デアラウ、斯ウ云フ趣意ノ下ニ此法案ガ提出サレタモノデゴザイマス、而シテ本法ハ第六條ヨリ、御承知ノ通り成ツテ居リマスルガ、第一條ニ於キマシテハ此恩典ニ浴シマスル者ノ範圍ヲ一般ニ取極メマシタモノデ、ソレカラ第二條以下第五條ニ至リマスルマデニ、ソレノ官吏トカ、或ハ學校教員又ハ巡查看守ト云フ風ニ、其身分ニ應ジマシテ在職年數ヲ通算イタシマシタ所ノモノデゴザイマシテ、頗ル此案ハ簡單デゴザリマスル、別ニ委員會ニ於キマシテモ是ト云ウテ質問モゴザリマセヌデアリマシタガ、茲ニ一ツ質問ガゴザリマスルカラ、ソレヲ申上ゲテ置キマス、ソレハ此法文ヲ見ルト文官ノミノコトガ規定サレテアツテ、武官ノコトガ規定サレテナイガ、是ハドウ云フモノデアルカト云フ質問デゴザリマシタ、ソレニ對シテ政府委員ノ答辯ハ、武官ノコトハ朝鮮總督府ノ所管外デアルカラシテ能ク分ラナイガ、是ハ仄ニ聞ク所ニ依レバ、目下陸軍省ノ方ニ於テ詮議中デアルト云フ答辯デゴザリマシタ、ソレカラ今一ツノ御質問ハ、今日カラ當時ノコトヲ考ヘテ見マスルト、即チ韓國政府若クハ統監府時代ノコトヲ追想イタシマスルト、内地人デ韓國政府ニ在官……在職イタシテ居ッタ者モ相當ニアッタコトデアラウト思フガ、左様ナ者ガ若シアッタトスレバ、矢張り朝鮮官吏同様ニ茲ニ規定スル必要ハナカラウカ、規定スル方ガ宜クハナカラウカ、斯ウ云フ質問ガゴザイマシタ、之ニ對シマシテ政府委員ハ、唯今ノ御尋ノ如キモノハ洵ニ僅少デアル、即チ内地人デ其當時韓國政府ニ雇ハレテ居ッタ者ハ洵ニ僅少デアル、而カモ其僅少ナル者ト雖モ多クハ大

抵日本ノ官職ヲ帶ビテ參ッテ居ルモノデアルカ、然ラズンバ官職ヲ罷メマシテ、サウシテ個人ノ資格デ行ッテ居ル者デアル、斯ウ云フコトデゴザリマシタ、而シテ前者即チ官職ノ儘デ行ッテ居ル者ハ矢張り官吏恩給法ニ依ッテ當然恩給ヲ支給シ、其他遺族扶助料ト云フヤウナモノモ支給ヲサレルト云フコトニナツテ居リマスル、サウデナクシテ、謂ハユル個人ノ資格デ行ッタ者ハ、最早内地ニ於キマシテ在官中ニ恩給ニ掛ッテ、然ル後其官ヲ罷メテ個人ノ資格デ行ッテ居ル者デアルカラ、別ニ此中ニ規定ヲシテ、朝鮮人ノ恩給ニ係ル者ト同様ノ恩典ヲ與ヘルコトハ要ルマイト云フ考デ、其中ニ加ヘナカッタ、斯ウ云フコトデゴザリマシテ、委員會ニ於キマシテハ大體右様ノ質問デゴザリマシタ、別ニ討議ニ入りマシタ所ガ、是ト云フ意見モナクシテ、全員一致ヲ以テ此案ヲ可決イタシタ次第デゴザリマス、此段御報告イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○伯爵清閑寺經房君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵高木兼寛君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス……

原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵清閑寺經房君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵中川興長君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通リデ御
異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス、次ノ議事日程ハ決定次第
御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會

午前十一時五十五分散會

